

# 好きです！奄美農業

編集・発行 大島支庁農林水産部農政普及課

経営普及係・技術普及係 奄美市名瀬永田町17-3 (0997)57-7274

瀬戸内町駐在 瀬戸内町古仁屋船津36 (0997)72-0184

喜界町駐在 喜界町赤連2901-14 (0997)65-3019

<http://www.pref.kagoshima.jp/aa02/chiiki/oshima/sangyo/nougyou/index.html>

## 奄美たんかんの産地の潜在力を引き出す取組始動！

奄美大島のたんかんは、全国一の面積と生産量を誇る産地へと成長しています。これまで地域をけん引して来られた認定農業者や担い手農家の方々の弛まぬ御努力がその礎となっています。一方で、多様な方々が生産の一翼を担っておられる側面もあります。

令和4年度は、こうした方々に光を当てて、産地全体の地力を一層向上させる取組を進めてきました。「栽培技術をどれだけわかりやすく伝えるか」という視点に立って、講座開設や冊子作成に努めてきたところです。積極的に御賛同・御協力いただいた関係機関・団体の皆様に感謝申し上げます。

### 瀬戸内町ストグレ！たんかん塾の開講

瀬戸内町では、シニア層・ダブルワーカー・ビギナーの方々など計62名の塾生を対象に、年4回の「たんかん塾（基礎編）」を開催して、たんかんの栽培管理についての理解促進を図りました。令和5年度は引き続き実践編を実施することとしており、喜界町でも同様の取組を計画しています。



【室内での学習(第1回)】



【現地での学習(第3回)】

### 奄美たんかんガイドブック（基礎編）の製作

奄美たんかんに関する指南書として、ガイドブックを新たに編纂しました。技能に不安のある方々向けに、専門用語をできるだけ使わず、イラストと写真をふんだんに使って、とっつきやすいスタイルで製本を心がけました。今夏から、希望者に配付できるように準備を進めています。



【ガイドブックの概要】

## 奄美大島・喜界島農業の動き

奄美大島・喜界島の農業の直近の出来事を県ホームページ上に以下のとおり紹介しています。右のQRコードより検索ください。

詳細については、大島支庁農政普及課までお問い合わせください。



### 令和5年2月

- 奄美たんかんハサミ入れ式が2年ぶりに開催される！（2月1日）
- 奄美群島たんかん品評会、今年も多数の出品で盛大に開催！（2月7～8日）
- 奄美市産業祭に農政普及課が支援する組織が多数出店（2月19日）



令和5年2月 たんかんハサミ入れ式

### 令和5年3月

- 瀬戸内町のストグレたんかん塾26名に修了証を授与（3月1日）
- 地域計画先行モデル地区「喜界町旧阿伝小学校区」で協議の場を設ける（3月1日）



令和5年3月 瀬戸内町ストグレたんかん塾修了証授与

### 令和5年4月

- 瀬戸内町のパッションブランド産地協議会でK-GAP研修会を開催（3月17日）
- 令和4年度産奄美たんかん出荷販売反省会、地区別に開催（4月17日）
- 瀬戸内町で飼料作物「トランスバーラ」の現地検討会を開催（4月18日）

### 令和5年5月

- 農業女子ネットワーク「komorebi」が異業種交流会を開催（4月26日）
- 瀬戸内町と喜界町のパッションフルーツ生産者が産地交流会を開催（5月17日）



令和5年5月 「komorebi」の異業種交流会

### 令和5年6月

- 奄美市のパッションフルーツ品評会が今年も盛大に開催！（6月8日）
- 瀬戸内町のパッションフルーツ出発式開催（6月12日）
- 瀬戸内町のパッションフルーツの品質を検証（6月13日）
- 喜界町のパッションフルーツ増収に向けた課題を語り合う（6月23日）
- 喜界町の春かぼちゃ販売額1億円突破！

## 新規就農者の動向と農政普及課の支援

奄美大島及び喜界島では、毎年概ね10名前後の新規就農者が誕生しており（図1）、新規就農者の経営品目は、割合の高い順に果樹(60%)、野菜(17%)、肉用牛(9%)、さとうきび(9%)となっています（図2）。

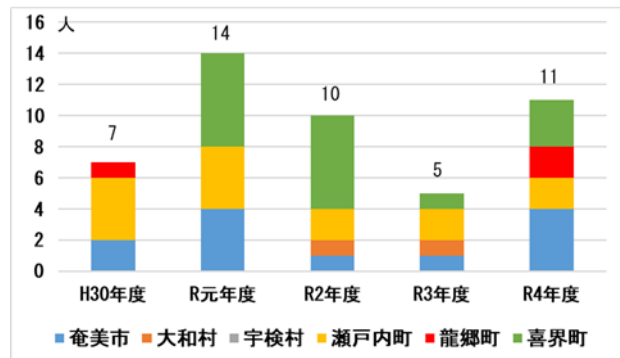


図1 市町村別新規就農者数

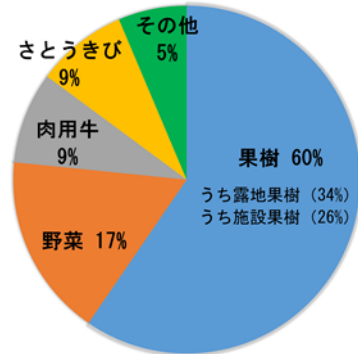


図2 品目別新規就農者の割合(H30～R4)

農政普及課では、農業基礎講座等の基礎知識の研修や指導農業士会や各市町村などと連携した現地指導を行い、新規就農者の定着を支援しています。



農業基礎講座(果樹)



現地指導(野菜)



現地指導(果樹)

## 新規就農者励ましの会を開催

大島地区農業改良普及事業協議会の主催による新規就農者励ましの会が、6月27日、奄美市市民交流センターで開催されました。

会には、奄美大島のパッションフルーツ、たんかん等の果樹経営などを営む新規就農者5人が出席し、「奄美から全国に販売できる体制を作っていきたい。自己研鑽を積み一人前の農家になりたい」など、営農の目標や抱負を熱く語りました。

大島支庁農政普及課長からは「技術の特化だけでなく、地の利(土地)と人を知り、地域の歴史と文化・風土、そして農業の歩みを諸先輩方から学ぶように」との助言がありました。この他、指導農業士会会長からの励ましの言葉や新規就農者を支援する生産者団体の紹介などがありました。



新規就農者5名(前列)

## 新たに認定された農業士の紹介

令和4年度は、新たに1名が青年農業士に認定されました。



◎生駒 雄一 さん (喜界町 露地野菜)

現在、かぼちゃ主体の経営樹立を目指し、かぼちゃの施肥技術の改善などに意欲的に取り組んでおられます。

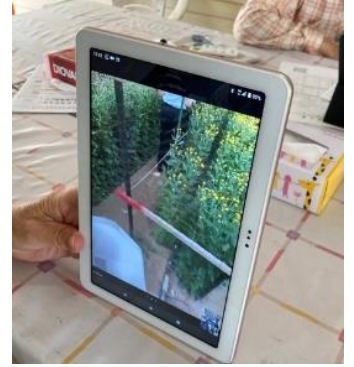
また、喜界町農業青年クラブに所属し、各種研修会や各種イベントへも積極的に参加する等、次世代を担う地域のリーダーとして、今後ますますの活躍が期待されます。

☆県では将来担い手農家として期待される青年農業者を育成するため、プロジェクト活動を組み合わせた体系的な研修を実施しています。  
**青年農業士とは**、その研修課程を修了し、「地域農業振興の中核となり得る青年」と県から認定された人です。

## 農業改良普及活動も「スマート」に!?

### ○ 国・業界等が一体となって「スマート農業」推進中

生産性の向上や人手不足の解決のため、情報通信技術 (ICT) やドローン、人工知能 (AI)、ロボットなどの最新技術の活用を推し進めています。



活用が期待されるタブレットPC

### ○ それなら普及活動も「スマート」に!

普及活動もICT技術活用で、以下の点で農家の皆さんに更に寄り添った活動ができないか取り組んでいます。

- ①遠隔コミュニケーションとオンラインサポート
- ②データ管理と分析の強化 など

※大島支庁農政普及課では、普及職員一人1台のタブレットPCを活用し「スマート普及活動」に取り組みます。乞うご期待!

## 令和5年度の普及職員紹介



経営普及係

川越 尚樹 (課長)



新

花立 貢二 (経営)



上之園 健一 (経営)



新

豊永 弥希 (作物)

瀬戸内町駐在



天野 学 (果樹)



塩屋 みなみ (畜産)

技術普及係



松尾 至身 (果樹)



恒吉 達也 (花き)



新

野島 秀伸 (野菜)



轟 栄起 (畜産)

喜界町駐在



森 和之 (野菜・作物)



郡山 啓作 (花き・果樹)